



社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会

TOKYOTO ■ DOHO ■ ENGOKAI

同援だより

2013年 新春号(170号)

<http://www.doen.jp/>



新年のご挨拶

理事長 牧野洋一



明けましておめでとうございます。
新年を迎え、皆様のご健勝を心より
お喜び申し上げます。本年も法人施設
の運営に当たり、格別のご指導、ご支援
を賜りますようお願い申し上げます。

昨年末の衆議院選挙の結果、また政権交代があり、新しい年
を迎えたわけです。

昨年は「社会保障と税の一体改革」の攻防の中で消費増税法
が成立しましたが、民自公の三党合意では、「消費増税分はす
べて社会保障費に回す」とされていきました。しかしながら、負
担増の先にある社会保障の具体的姿は見えていません。新し
い政権が、公助よりも自助を重視している中で、社会保障の大
幅な見直しが予想されます。今後、「社会保障制度改革国民
会議」でどういう議論が進行するのか、しっかり見守っていく必
要があります。

おかげさまで、昨年は、当法人の経営する施設においては、格別
の事故もなく、利用者の皆様方に満足いただけるサービスを提供
することができたものと思います。また、経営面においても適切
な収支を確保することができました。これも、役職員一丸となって
取り組んだ結果であり、日ごろの努力に感謝する次第です。

今年には、建替え中であつた、むさしの保育園とサンライズ武蔵
野、昭和郷第一保育園が竣工します。更に、原町の高齢者複合施
設も完成し、小規模多機能居宅介護サービスなど新たな事業が
開始されます。また、老朽化した大山保育園と立川福祉作業所
の建替え計画が進行する予定です。

当法人は、今年も引き続き有為な人材の確保と育成に努め、
利用者の皆様へ良質なサービスの提供に努めるとともに、地域
の皆様にご喜ばれる施設を目指して一層努力してまいりますの
で、よろしくお願ひ申し上げます。



同胞援護会理事

就任にあたって

理事 森谷 順蔵

この度、東京都同胞援護会の理事に就任させていただきました森谷順蔵でございます。

私は、これまで昭島市の職員として長年に亘り市役所勤めをしてまいりました。その間、主に会計、議会、総務、教育委員会や市の収入役などの仕事に携わってまいりましたが、福祉関係につきましては、福祉部健康課長として三年間の経験があるのみで福祉の実務経験は乏しいため、同胞援護会の理事をお引き受けすべきか迷いました。

しかし同胞援護会は、これまで昭島市域においても、保育、高齢者等の支援施設や医療機関の経営を通じ各種の社会福祉事業を幅広く展開してきており、これ

らの施設を多くの市民が利用する中で、地域福祉や保健・医療等の増進に大きな役割を果たしてきているところでございます。このようなことから、私といたしましても、今後の同胞援護会の円滑な事業運営に多少なりともお役に立てればとの思いから、未熟ではございますが理事をお引き受けさせていただきますことといたしました。

現在わが国は、少子高齢化・核家族化の進行や都市化の進展、また生活環境の変化などにより、社会環境は急速に変貌してきている状況でございます。

そして今、子どもから高齢者まですべての人々から、年齢や性別に関係なく、ともに助け合い、支えあい、そして安心して暮らすことが

できる地域福祉社会の実現が求められております。

このような中で、現在、同胞援護会が実施しております各種の多様な福祉サービス事業は、今後もその重要性をますます発揮していくものと思われまます。

また、同胞援護会は平成二十四年度の事業計画の中で、利用者の安心・安全を確保し、利用者の立場に立った質の高いサービスの提供等を掲げております。

これらのことを踏まえ、同胞援護会が掲げる基本理念や基本方針・事業計画のつとめ、これからも同胞援護会の各種福祉事業が円滑に推進され、多くの利用者から一層愛され喜ばれることができるよう、理事の一員として、微力ではございますが誠心誠意取組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



役員名簿

平成二十四年十月二十四日

理事長 牧野 洋一 (再任)

常務理事 菅原 眞廣 (〳)

理事 多久島 耕治 (〳)

〳 橋本 泰子 (〳)

〳 原山 陽一 (〳)

〳 品川 卓正 (〳)

〳 殿塚 典彦 (〳)

〳 木村 美子 (〳)

〳 森谷 順蔵 (新任)

監事 鈴木 道生 (再任)

〳 五十嵐 力平 (〳)

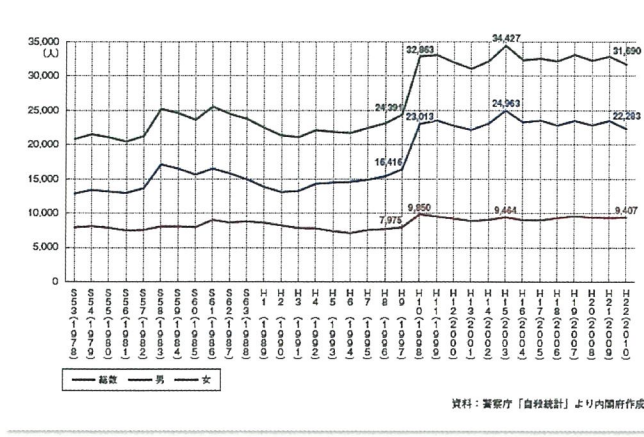
二〇一二年十一月三十日社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 中野ゼロホールでの講演
現代社会における社会福祉の意味と意義を考える

東京家政学院大学 現代生活学部 人間福祉学科
 教授 西 口 守

本日は、現代社会における社会福祉の意味と意義を考えると題してお話をさせていただきます。

経済的問題が自殺に深刻な影響を与えている

では我々が生活しているこの社会はどういう社会なのかを考えます。まず、はじめに自殺と経済問題について考えます。

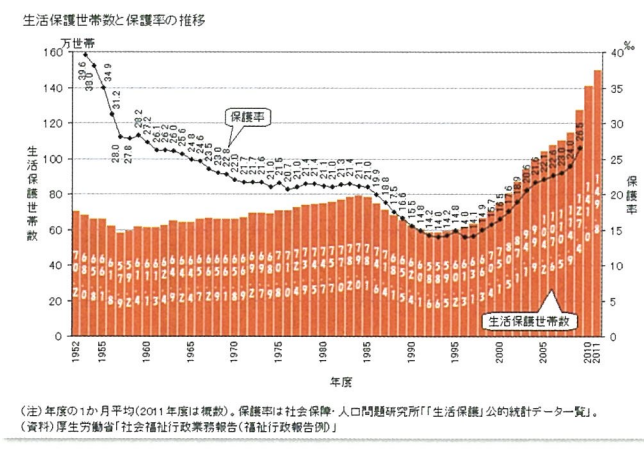


ご覧いただいていますように我が国の自殺者数は一九九九年から毎年三万人を超えて推移しています。上記のグラフで注目するのは、平成九年までが二万人前後で推移した数字が平成十年、一九九八年急に八千人増えて三万人を超えてそこから高いまま推移しているということです。ではこの間に何があったのか。それはバブルがはじけ、大手企業が倒産しその結果中小零細企業にもその影響が及び深刻な不況が始まった時期であったということです。すなわち、経済苦の問題が、我が国にずしりと重くのしかかった時期でありました。こういう中で自殺者は急速に増えているのです。

詳細にみますと、一九九八年に急速に増加したのは男性であるということです。そして年代では、三十五〜六十四歳の自殺者が多いということです。すなわち、男性の中年期から初老期までの方々がその重荷に耐えきれず自らが死を選んでいるということです。そしてその動機は、健康問題が一位ですが経済的な問題、すなわち生活苦の問題の要因も高いのです。

生活保護の増大と自殺者数は関連がある

自殺には、経済苦、生活苦が影響を与えると申しました。ではこれを生活保護との関係でみてみますと、ご覧いただいているように、こちらも一九九十年代後半を境に急速に増加しているのです。このことから考えられることは、保護率と自殺者数は、ほぼ相関がある。保護率の高まりは自殺者数を増大させている。すなわち、自殺と経済の問題は強い関連があるということです。

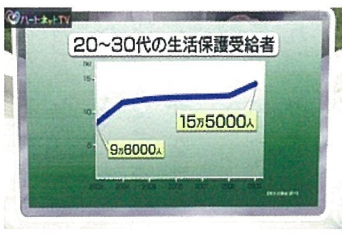


生活保護受給者の状況

さてNHKのEテレ(教育テレビ)のハートネットTVではシリーズ「貧困は大社会を年間テーマとして取り上げています。

この番組では、現代の生活保護受給者の状況、課題、問題を四つ上げています。

① 若年層の生活保護受給者が増加している



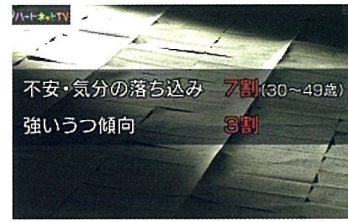
若年層の受給者が増大していることが分かります。(厚労省データ)

② 深刻な孤立化が進んでいる



(板橋区・首都大学東京調査)

③生活保護受給者に深刻なうつ症状がみられる



(板橋区・首都大学東京調査) この状況は放置すると自殺につながりかねない問題を孕んでいるといえるでしょう。

④頼れない、頼りになる人がいない。人間関係の貧困化

これについては、おふたりの実践家も同様の指摘をされています。一人は児童相談所S.Wの山野良二さん、もうひとり反貧困ネットワークの湯浅誠さんです。おっしゃっていることは、貧困の人は頼れる人がいないということですが、別に言えば、信じられないということかもしれません。

(参考)

▼「彼らに欠けているのは、実は人的資本だけでなく、頼りとなる友人や親類がいないことが多く、社会的なサポートにも欠けています。結局、そうした状態にあると、ちよつとした周囲の環境の微妙な変化にそうでない人々以上に深刻な影響を受けてしまうのです」(山野良二著：「子どもの最貧国・

日本」学力・心身・社会に及ぼす諸影響」光文社新書 二〇〇八年 八百二十円)

▼「貧困状態にある人たちの多くは…頼れる関係を持つていなかった。…人間関係の貧困も貧困問題である」

(湯浅誠著「反貧困」すべり台社会からの脱出」岩波新書 二〇〇八年 七百四十円)

この意味で貧困は経済的な問題ばかりではなく、人間性の根本を揺るがす大きな問題だということができるといえるでしょう。

ではこの人間性の根本を揺るがす、またはその尊厳を傷つける貧困と人間はどう向き合ってきたのか、歴史を紐解いていきたいと思います。

貧困を人間はどうみつめ、関わったか

貧困と人間との関係を考える場合、四つの局面で考えることができます。

①慈善活動としての救済

カトリック修道会が積極的にに行っておりました。

②宗教改革による慈善の否定…救済法の制定

宗教改革者らは、労働の神聖さを強く訴え、「働かざるもの食うべからず」という倫理を構築し、その流

れの中で、イギリスでは世界で初めての救済法は制定されますが、救済というより、強制労働の合法化を図った政策でした。

③リッチモンドによる貧困の科学化

貧困は怠惰という個人の道徳的問題に帰着させる思考から、リッチモンドは、社会の問題という視点に変化させました。ここから貧困観は大きく変わり、社会福祉実践のありようも変化していったのです。

④福祉国家の制定

イギリスやアメリカそして戦後の日本と、民主主義の体現としての福祉国家が作られたのです。

今、改めて貧困問題が問われている

しかし、我々は、冒頭述べたような、孤立や孤独の時代の中で、傷つき、痛み、躓く人々がいることを、知り、改めて貧困問題と向き合うことが求められているのではないのでしょうか。

現在の生活問題は過去との関連がある

私は、過去に男性独居高齢者の生活困難の特性について調査研究をしました。そこで明らかになったのは、現代の生活困難は、過去の問題と関連があり、それに高齢期独特の課題が相互に作用を起こして形成されているということです。

こういうなかで、人は何度も人生に挫折を繰り返していくうちに、自らの存在意味を見失います。そのとき我々は、存在意味を見いだせない、もしかすると自暴自棄になっていくことにどんな言葉が必要なのでしょう。

絆

北九州ホームレス支援機構の奥田知志さんは、「絆とは傷+なの合成語」と言います。すなわち、本当に絆を求めるとなれば、つながりを求めるのなら、傷つき、傷つける関係を経ずしてはありえないということです。そうです、利用者があなたを傷つけるその一言はあなたに「絆」を求めているのかもしれない。

あなたに「こんな言い方しかできないけれど、あなたを頼りにしているから、見捨てないで、見放さないで」と言っているのかもしれない。

素直に助けると言えない人の最大の愛情表現かもしれません。一人ぼっちはだれでも寂しいのです。

見捨てない、見放さない

私には「あなたは、見捨てられも、見放されも決してしない」が大切なのではないかと思います。見捨てないし、決して見放さないということばだけに、もう一度生きてみようという力を与えられるのかもしれない。

二〇二二年福祉サービス研究発表会を終えて

研修委員会

委員長 東 俊 郎

二〇二二年福祉サービス研究発表会が、十一月三十日中野ゼロホールにおいて開催されました。地域に対して社会福祉法人としての新しい福祉サービスを発信して行く趣旨で始められた発表会も今年で四回目となりました。施設でのサービスを地域に発信する事で、市民と協働して福祉サービスを築いて行くという姿勢は、一般の方々を含めての参加者数を見ても定着しつつあるように感じられます。

今回も法人内の高齢、障がい、保育、児童女性支援系の各グループよりテーマを募集し二年の歳月をかけた研究成果を発表させていただきました。

当日は会の趣旨を含めた菅原常務理事の挨拶があり、続いて東京家政学院大学現代生活学部人間福祉学科教授西口守先生より「現代社会における社会福祉の意味と意義を考える」というテーマにて「講演いただきました。内容としては、社会福



社全体の体制を念頭におきながら現代社会の中で今問われている「孤」と「個」を考え、施設や専門職がどう係わり、役割を果たして行くかという課題が提起されたものでした。先生にはグループ発表会の後で講評をいただき、今後に向けてのご教示もいただきました。

アンケートから 感じられるもの

今回の参加者は、二百四十四名であり、学生、教授等学校関係者他法人の職員等の参加も多く見られました。

「福祉施設サービスは施設に留めるだけではなく、市民のみならずと共に考え必要なサービスを新しいサービスへと繋げて行くもの」とも考えられるだけに、福祉サービス研究発表会を通して、福祉を志す学生、あるいは一般市民の方々に福祉研究の成果を広く伝えて行きたいとの思いがありました。

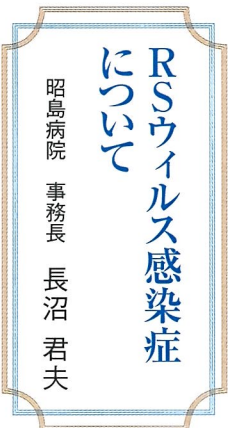
アンケートでは「同援として外部に施設活動をオープンにして行く」とする姿勢に共感しました。等おおむね良好の評価でありました。

福祉サービスの意義と 職員育成

施設あるいはグループとして協力し合い助け合いながら勉強会等行いまとめ上げた研究成果です。同援以外の一般の方々よりの意見、励ましもアンケート等で頂く事が出来、次回へ向けての指針となりました。

また、同援内施設であっても、他職種の研究については、わからない部分もあるため大いに刺激となり、且つ同じ法人内職員としての連帯感を育てる場ともなりました。利用者主体のサービスを充実し、地域と共に育って行く施設であることの大切さを改めて認識出来た福祉サービス研究発表会でした。サービス内容を広く公開して行くことで多方向よりいただいた評価を自己を振り返る機会とし、よりよい福祉サービスに繋げて行きたいと思えます。福祉サービス研究発表会に御協力いただいた皆様の方々に御礼申し上げます。





RSウイルス感染症について

昭島病院 事務長 長沼 君夫

1 急増している

RSウイルス感染症

「RSウイルス感染症の報告数が急増しています」

「乳幼児は早めの受診と」

感染予防を」

と、本年九月に東京都福祉保健局が注意喚起を促す文書を、報道機関を通して出しています。当法人も多くの児童施設等を抱えておりますので一層の注意が必要かと思えます。

東京都の注意文書によると、『乳幼児を中心に例年冬季に流行するRSウイルス感染症の報告が都内で急増している。また、保育所での複数感染事例や肺炎で入院する例も報告されている。保育所や幼稚園などにおいては、保護者や職員を含め

た手指衛生の徹底や咳などの症状がある場合は無理をさせないなど、感染を拡大させないための注意が必要である』と強調しています。

2 都内における発生状況

都内におけるRSウイルス感染症の届出件数は、平成二十四年の第四十三週目（十月末）現在ですが、平成十五年の調査開始以降、最も高い数値になっています。ここ三年間で見ましても、年々増加しております。

また、感染症の患者の殆どが二歳未満の乳幼児で、全患者の約九パーセントを占めています。

都福祉保健局健康安全部の話しによると、「この所、流行傾向は鈍化しているが、昨年と比較しても、一定点あたりの発生件数は多く、注意を怠らないようにしてください。」とのことでした。

3 RSウイルス感染症とは

RSウイルスは麻疹ウイルスと同様の科に属するウイルスで、ノドや気管支などの呼吸器に感染します。

感染力が強く、ウイルスに汚染されたカウンターでは約六時間、手についてた場合は、約三十分間は感染能力があるとされています。また、感染経路については飛沫感染、手指等を介した接触感染により、最初は鼻に感染する事が多いとのこと。

潜伏期間についても二〜八日で、普通は四〜五日位で症状が現れ、一方、ウイルス排泄期間は七〜二十一日と長く、感染が広がりやすい傾向を有しています。

4 感染した際の症状

RSウイルスに感染すると、発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、倦怠感（元気がない等）などが主な症状で、かぜと同様の症状になります。

特に、生後六ヶ月未満の乳児や低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある幼児の場合、肺に近い気道に感染すると、細気管支炎を起し、重症化しやすくなります。重症化しますと、水のような鼻汁、鼻づまり、ひどい咳、呼吸数が多くなる多呼吸や肋骨の下がへこむ陥没呼吸など呼吸困難の症状です。

5 予防等について

一方、小学生以上の学童や成人も感染しますが、かぜ症状でおさまる場合が多く、時には気管支炎、肺炎につながる事もあるので、あなごれに二面もあります。すぐ、専門医に診てもらう事が必要です。

飛沫・接触感染防止のため、保護者の方や保育所等の職員の方は①手指の衛生管理②マスクの着用③咳やくしゃみの際、口や鼻をティッシュ等で覆う事などの対応が必要です。また、咳などの症状がある場合、保育園への登園を見合わせるなど無理をしないような注意が必要です。

6 その他

RSウイルス感染症は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」で規定する五類感染症（定点把握疾患）に位置付けられ、迅速診断キット等による検査で病原体が判明されれば届出が必要とされています。

私の夢

サンライズ青山

● J・N(小学四年生男子)

多くの夢は、司法試験にうかって、検察官になりたいです。

理由は、お母さんと勉強して、二人とも、うかって仕事をしたいからです。そのために、中学から勉強をしたいです。二十二歳までにはうかりたいです。

● T・Y(小学六年生女子)

私の将来の夢は、人の役に立つ仕事をすることです。そのように思うようになったのは、今、お世話になっている方がいるからです。

私は、母子生活支援施設で生活させて頂いています。ここでは、職員さん達がいつも私達を支えて下さっています。朝は、泊まりの職員さんや警備さんが登校を見送ってくださり、昼は、帰ってきた時にやさしく迎えてくれます。さらに、夜にはみんなの安全を考え警備で巡回もして下さっています。そして、私が夢としていることは、ここで生まれました。職員

さんや警備さんの人を支えたり助けたりする姿を見て、私もあんな風に人を支え役立つことができたい人になりたいと思いました。

しかし、人の役に立つというのは決して楽なことではありません。それは、いつもいつも目の前で職員さんを見ているからです。様々な相談に乗ったり、行事で様々な場所へ連れて行ったり、いろいろな場面に対応していかなければいけないからです。しかし、私はこの職員さんのような仕事をしたいです。これからは、その夢に向かって普段から友達にやさしくしたり、困っていたら助けあげたりしたいです。そして、みんなを笑顔にできるようなやさしく、そして思いやりのある人になって、みんなの役に立つ仕事をしたいです。

● M・I(中学二年生女子)

私の将来の夢は、まだ正確には決まっていなくても、部活でバレーボールをしているのでバレーボー

ル選手になりたいと思います。私は身長が低く、アタックが打てないです。だから、みんなが打ちやすいようにカットをするリベロになりたいです。リベロは、アタックもサーブも打たない守備専門です。アタックカットとサーブレシーブがうまくできるように部活も力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

● H・K(高校二年生女子)

私は今、高校一年生です。夏休みの終わりに引越しをしてきました。丁度、文化祭の準備に入ろうとしていました。始めに取りかかったのは夏休みの宿題です。それからあつという間に月日は流れ、文化祭も無事に終わり、今は福祉部とイラスト部の部活動や学校生活も楽しく過ごせています。将来の道はまだ定まっていませんが、人に喜んでもらう事のできる、人の役に立つような仕事に就きたいと思っています。その為に、今は勉強にも他の事にも挑戦し頑張ろうと思っています。

● S・Y(母親)

私の小さな頃の夢は、お母さんになることでした。今は、宝物の娘が大人になるまで健康で楽しく暮らしていくことが願いです。そのため

には、まず心身を健やかに保つこと、そして、今の職場で常勤職員になれるよう日々努力していきたいです。

私たち親子は、サンライズや他にもいろいろなお世話になっていて、たくさんの方々のお世話になっていきます。将来的には微力でも何かの形でお返しができるかと思っています。

● A・S(母親)

小さい頃の夢は良くありがちな、お花屋さんかケーキ屋さんでした。ですが、いつの頃から母が経営していた小料理屋に興味を持ち始めました。十代、二十代は、がむしゃらに色んな仕事を経験してきましたが、やはり最終的には娘と一緒に、昔の母と私のように何か商売するのが夢です。その為には勿論、資金力が必要になってきますので、自分の中で五十までには安定した生活をしたと考えています。

夢を叶えられる人はほんの一握りだと言いますが、逆に夢が無い人よりは幸せなんではないかと思うようになりました。娘にはパパが居ないと淋しい思いもさせる時があるかと思いますが、いつぱいの愛情を注ぎ、夢を沢山もって叶えられるようにバックアップしていきたい。これが私の二つ目の夢です。

私の夢

ゆたか苑

● 黒澤由枝(介護職員)

あなたの夢はなんですか? と聞かれて、スラスラと答えられる方は、こちらが恐縮してしまうくらい、すごいなあ、かつこいいなあと思ってしまうます。

今回、自分の夢を言葉にしようとした時、実際戸惑ってしまいました。はて...? と言いつつ、何となく、こうなれば良いな、こうなりたいと言う想いは、ずっと思い続けているような気もしています。

今年、私は三十六歳で、介護という仕事に就かせていただきました。それまでは、おそらく、自分のことをまっしぐらな人生とでもいいますか、小さい頃から絵を描くこと、物を作ることが大好きで、日々の生活の中から好きなことを探っては、絵や形にすることを楽しんでいました。それに思います。その想いのまま東京芸術大学に進学し、卒業後も物を造る仕事に就きました。

私の頭の中には『人』という存在

があまり無く、好きな写真を撮る際も、『人』を被写体にすることは殆んどなかったように思います。写真が台無しになってしまいそうで。ひどい話ですが、今思うと『人』という存在をとっても強く感じていたからでしょう。その私が、介護という仕事に惹かれてきたのです。『人』とふれあい、時に寄り添い、その人らしく生きる素敵なお手伝いをさせていただく仕事です。きっと自然な変化だったのかもしれませんが。

ご利用者の気持ちを察し、声を掛け思いを探り、この積み重ねがご利用者との信頼関係に繋がります。形では表現できない気持ちが生まれるのです。

元々人と接することは得意な方ではないのですが、介護の仕事を通して、技術は勿論、人として温かく、私の笑顔で元気がでるような、そんな人でありたいと思っています。

先日、ご利用者の似顔絵を描く機会です。普段見過ごしていることが沢山あることに気付いたのです。その方を見て、知って、より良いケアに繋がると先輩職員から聞く事がありました。正

にそうなのだと感じました。

まだまだ勉強中の私ですが、ご利用者の想いに寄り添いながら、私自身も一人の人間として、良いと思うものが、良いと感じることを、皆さんが持っている無意識のどこかの感覚に伝えて行きたいと思っております。今では、表現したいものを形にして残すことより、人の心に残るような人間 介護職員になることが、私の将来の夢になっています。



● ご利用者より聴き取り

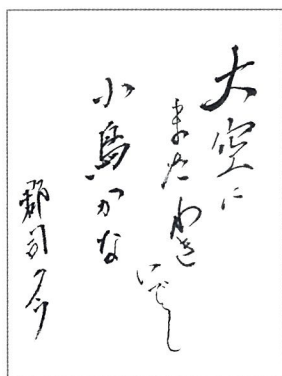
「私は昔から手先が器用だから、手芸とか、書き物、染物をやりたいわ。他の方とおしゃべりをしながら楽しいと思うのよ。自分のことは自分でやるのが当たり前だと思ってるわ。また、そうすることが好き。左手に麻痺があるため、上手く動かなくても毎日体操をしてるのよ。な

るべく皆さんの手を煩わせたくないけれど、本当にいつも感謝してるわ。若い頃は料理屋をやっていたから、だから美味しいご飯も作ってあげたい。」と、とても楽しそうに話してくださいました。

左側上下肢に麻痺がありますが、トイレに行くときも右手の力だけで手すりにつかまり、車いすを操ります。起床時のお声掛けをする際も、右手で麻痺側の腕を持ち、ご自分のリハビリを行っています。

「夢と言う程のものではないけれど、希望はたくさんあるわよ。いつも考えて、あんな風になれば良いとか。考えているだけでも楽しくなる。」と語ってくださいました。

会話の最中は笑顔が多く、話しているだけでも幸せそうな様子から、少しでも夢を叶えるお手伝いをしたいと思う瞬間でした。



わたしの夢

大山保育園

いろいろなケーキが作りたいから
ケーキ屋さんになりたい。

(春 菜)

ソフトクリーム屋さんになりたい。
ソフトクリームの機械を使いたい。

(加奈子)

ドラマーになりたい。早く叩ける
お父さんがカッコいいから。

(琵琶 音)

電車の運転手になりたいです。運
転が、楽しそうだから。

(莞 爾)

アイスクリーム屋さんになりたい。
いっぱい美味しいアイスが作れる
から。

(美 音)



焼き肉やさんになりたい。お母さ
んみたいにいっぱいお客さんが来
るお店を創りたい。

(煌 南)

高い所で作業するのが楽しそうだ
から大工さんになりたい。

(侑 希)

パンを作るのが大好きだからパン
屋さんになりたい。

(金太郎)

お琴の音がきれいだからお琴の先
生になりたいです。

(奏 穂)

ケーキを作ってみたいからケーキ
屋さんになりたい。

(那 々)

実験が楽しそうだから科学者にな
りたい。

(将 弘)

警察官になりたい。人を守って
いるお仕事がかっこいいと思う。

(海 翔)

消防士になりたい。火事の時火を
消すのが、カッコイイ。

(幸 芽)

お花屋さんになりたい。きれいな
お花が好きだから。

(由莉奈)

鍋料理屋さん。私のおばさんが、
やってかっこいいと思うから。

(希々香)

電車の運転手になりたい。どうやっ
て電車が、動くのか気になるから。

(風 雅)

海上保安官になりたい。海での
仕事がかっこよくてどんなお仕事
か知りたい。

(拓 磨)

警察官になりたい。泥棒とか悪い
人を捕まえた。

(優 斗)

シャチの調教士になりたい。水族
館のショーを見たときすごくかっ
こよかった。

(今日子)



警察官になりたい。パトカーが
かっこいいから。

(優 樹)

お花屋さんになりたい。綺麗な花
束が作りきたい。

(彩 音)

お花屋さん。きれいな花をいっ
ぱい見たいから。

(優 衣)

恐竜の博士になりたい。恐竜が大
好きだから。

(優 人)

自衛隊博物館に行って戦車がかっ
こいいと思ったから自衛隊員にな
りたい。

(暁 生)



私の夢

さいわい福祉センター

● 小川 直哉

私は、小さい頃から警察官になるのが夢で、今でも変わりません。正義の味方ウルトラマンのようになれたら、カッコイイと思います。警察官になれば、子供やお年寄りに親切してあげたいと私は思っています。夢が夢で終わらないように、心も身体もしっかりとした自分を作り、夢が叶うように、日々頑張っています。



● 荘司 和美

私の夢は、将来、新しい就職をして、夢だった世界遺産に行くことです。なぜならテレビや本を見てあまりにも感動してきれいだったからです。なのでお金をためて、その世界遺産に行つて願いをかなえるまでがんばって仕事をつかみたいのです。



● 西川 瑞樹

私の夢は会社への就職です。高校生の時から早く仕事をしたいという就職に対する意欲が高くさいわい福祉センターに入ってから日々、就職につこうと四回、面接を受け、やっと四回目で面接に合格し、十一月十六日から夢が叶い、企

業に就職することが出来ました。

今後、就職を考えている人は自分の得意な事を生かせる企業に就職、がんばって下さい。



● 小田 観来

おかねをためてから家を買うこと。それと、ゲームき、おえかきノート、のみもの、すいとう、(ボール) ペン&えんぴつ&れいぞうことでんき&ガス&トイレようのスプレーとをかうこと&ゲームケース(3DSの)じゅうでんき&お茶ば&フトン、おみず&ベッド、マクラカバー、くつ、くつ下、したぎ、じゃんばん&せんぶうき(夏よう)、冬ようのストープ&おもちゃ&ハンガー&フォウチョウ、マナイ

夕をかってから一人ぐらしをするこ
とです。

● 松尾 智広

私の夢は、料理をつくっていくことです。そのために料理にかかわる仕事をさがしていこうと思っています。さいしゅうてきには、自分の店をもちたいと思っています。そして結婚して子どもにひきついでもらいたいと思っています。



ボランティアの声

同援みどり保育園

ボランティア 大井 望美

私は現在、同援みどり保育園でボランティアとして関わらせて頂いている、東京家政大学児童学部四年の大井と申します。大学三年生の時の保育所実習を終えてから、継続して勉強させて頂いています。

ボランティアでは毎回入るクラスを自由私が決めさせて頂き、零〜五歳のクラスにすべて入ることで子ども達の発達段階を感じながら常に学ぶことが出来ます。ボランティアに行く私の顔や名前を覚えて、名前を呼んでくれる子ども達が増えてきて、とても嬉しく思っています。

子ども達と実際に関わることで、目の前にいる子ども達の気持ちに寄り添うことや、言葉がけの難しさを日々感じています。これは、大学の授業だけでは気づくことはできません。特に子ども同士の間では、自分の気持ちをうまく言葉にできず、相手とすれ違ってしまう子どもの思いを汲み取ることが大切です。始めは私も、子ども達



納得して解決するところまでたどり着けませんでした。しかし、子ども達と過ごす時間や、一人ひとりへの理解を深めていく内に子ども達の気持ちに寄り添えることも、徐々に増えてきました。喧嘩から前向きに立ち直る子どもの姿を見ると、私も子ども達から何かを学べたような気持ちになります。そして、先生方はその一人ひとりを理解した上で、子どもが充実した園生活を送ることが出来るように、支えながら保育をしていらつしやいます。保育をする上では園全体で子どもの成長を考えていくことが重要で、各保育士間の連携が欠かせないことも学びました。そのクラスの担任保育士だけでなく、各保育士が子ども達の姿を捉えて、少しの間でも子どもについて話し合う場面が

印象的で、子ども達が安心して過ごすことの出来る環境が保たれているのだと感じます。保護者の方にとっても、子どもを預けて良かったと思える環境があるのだと思います。

学生生活は残りわずかですが、指導して頂いていることをしっかり吸収しこれから活かせるよう努力していきたいと思えます。

立川福祉作業所

ボランティア 尾山裕見子

私は立川福祉作業所で二回ボランティアに参加させて頂きました。

二回目は、九月に行われたすぎな祭でのボランティアでした。打ち合わせをした後、事前に知らされていた担当のお店で、利用者の方と一緒に用具の設置や準備をしました。他のお店の様子も見ながら、とても楽しく準備をすることができました。すぎな祭が始まると、利用者の方は思い思いにお店をまわり、遊んだり食事をしたりしました。わたしも利用者の方とお店をまわり、お祭りを満喫することができました。食べ物はどれも手がこんでいてとても美味しかったです。後片付けでは、普段使わないような機材や道具を利用者の方と協力し試行錯誤しながら片付けました。お祭りが終わってから、利用者の方に「すぎな祭



どうでしたか？」と聞くと、皆さん「楽しかった！」「美味しかった！」と満面の笑みで答えて下さったことがとても印象に残っています。

二回目は宿泊旅行のボランティアでした。今まで利用者の方と寝食を共にしたことが無かったので、初めはとても不安でしたが、打ち合わせに行くと職員の方がとても丁寧に説明して下さいましたので、安心しました。担当の利用者の方と行動を共にし、安全面に留意しながら、利用者の方が楽しめるよう見守ることが、私の仕事でした。旅行中は、特に危険な事もなく、美味しい食事と綺麗な景色に囲まれて、とても楽しく過ごすことができました。

私はボランティアを通して、より深く利用者の方と関わることがとても嬉しかったです。また、利用者の方が楽しく活動している姿を見て、こちらまで幸せな気持ちになりました。まさに、良いこと尽くしのボランティア活動でした。

サンライズ万世

ボランティア 坂本 麻依

私がサンライズ万世で学習ボランティアを始めたのは、二年前の夏で大学一年生の頃でした。私は、BBSという青少年の自立支援を目的としたボランティア団体に入っており、その先輩の紹介でした。私が始めた当時はBBS会員三名で活動していましたが、今では人数も増え、大学二年生から四年生まで八名ほどで活動しています。BBSのなかでも活発な活動となり、定期的に母子生活支援施設についての学習会なども行うようになりました。

学習ボランティアでは、週二回一時間程度、自分の担当の中学生の学習を二対一で見えています。私は、今まで学習ボランティアを経験したことがなかったため、「上手く勉強を教えられるか」「担当の子と仲良くなれるか」という不安がありました。私の担当の中学生は最初黙々と学習をしていて、「どこかわからないところある？」と聞いても、すぐ「大丈夫」と返すような子でした。真面目な面がある一方で、集中力が切れる場面もあり、対応に戸惑ったこともありました。しかし、回数を重ねることで、自分から学校であったことや好きなことなどについて話すようになってくれました。だんだんと中学生と仲良くなっていくと、毎回の活

動がより楽しみなものになっていききました。また、学年が上がり、受験を意識するようになると、集中力も続くようになりました。中学生の頑張っている姿や成長していく姿から、私自身とても力をもらいました。

実際の活動では、ボランティアを行う側が子どもから学ぶこと、考えさせられることが多くあります。また、「子どもの力になりたい」と思えば思うほど、それが叶わなかった時、悲しさや悔しさを経験することもあります。それらの経験を活かせるように、施設とBBSの繋がりを大切にし、私自身も成長していきたいです。



ニューフジホーム

ボランティア
テンダーハート 昭島

守本早智子
外川 彩子

「思いがあるのに伝わらない状態なんて一分一秒も嫌なんです」そう言うのは、石川県で特別支援学校の先生をしながら、脳幹出血で倒れた同僚の回復のために尽力している山元加津子先生です。その先生が進めておられる活動が「白雪姫プロジェクト」というもので、意識がないと思われる方やコミュニケーションが取れないと思われる方達の「思い」を引き出し伝い合えるようにしたいというものです。これに賛同する私は、このニューフジホームさんに「寝たきりで意思の疎通が難しい方々と関わらせて頂きたい」と相談を持ちかけた所、即了承を頂き半年前から私と娘が二人で数名の方々と関わらせて頂くようになりました。「どんな状態におられる方にも思いがある」ということを大前提に利用者さんと関わっていきます。私達のテーマソングも作って毎回歌でご挨拶。そして体を寄り添わせて手を握り、肩や腰をさすりながら利用者さんと「会話」するのです。お話しも出来ない方が殆どですが、必ず瞬きや目の表情や口の動かし方で意思の「通じ合い」を強く意識しながら触れ合います。車椅子に移乗して頂いて体を起こすこと

で意識をはっきりさせたり、故郷の民謡を歌ったり「あ」の口の練習をしたり「声を出しましょう」と声を出す練習をしたり、お一人おひとり違った接し方で月二回お相手させて頂いています。この施設の職員の皆さんは本当に利用者さんのために可能な限りの尽力を惜しまない方々ばかりです。多忙を極めるお仕事の中で、じっくり向かい合ってお相手をするのはどんなに思いがあっても無理な話でも私達がこの活動の中でみつけた利用者さんたちの「反応」を心から喜んで下さり、ご自分たちの声掛けもそのたびに褒めていって下さる職員の皆様は本当に素晴らしいと思います。こういう二人三脚があつてこそボランティア活動は意味が深くなるのだと私は考えています。

職員さんからは、この活動が始まってから表情が前と全然違う。この活動後に話しかけるとあきらかに反応が早い。声掛けに反応してくれるようになった気がする等等など、たくさん娘や仲間達が届いています。これからも娘や仲間達と共にこの活動を続けていきたいと思えます。機会を与えて下さったニューフジホームさんに心から感謝しています。



全国婦人保護施設長等 研究協議会に参加して

婦人保護施設いこいの家

園長 田口 道子

平成二十四年度全国婦人保護施設長等研究協議会は六月二十八日(木)～二十九日(金)に岡山県で行われた。婦人保護施設は、「売春防止法」と「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)を根拠法としており、居所なし、暴力被害、生活困難などさまざまな理由で保護された女性たちが、生活再建のために利用する施設である。その根拠法である売春防止法は、昭和三十一年以来五十六年間変わっておらず、「収容」「保護更生」などの言葉が未だに残っており、女性のみが罰せられる差別的な法律であるということも課題としてある。

全国婦人保護施設等連絡協議会(全婦連)では売春防止法見直し検討会をたちあげ、この数年間売春防止法の見直しを検討してきた。

売春防止法は刑法でありながら、その一部に福祉(第四章、婦人保護施設は第二種社会福祉事業)が入っているという特殊な法律である。管轄も第四章のみは厚生労働省、その他は法務省である。

売春防止法見直しについてはいろいろな議論があつたが、会として統一見解までには至らなかつた。せめて「収容」「保護更生」「婦人」などの用語だけでも変えられないかと考え、厚生労働省にも働きかけ、小宮山厚生労働大臣にも直接お会いし要請した。その結果、売春防止法の第四章(厚生労働省管轄部分)が見直されることとなった。六月には「婦人保護事業の課題に関する検討会」が立ち上がり(全婦連会長も委員として参加)婦人保護施設だけでなく相談員、相談所その他の団体、研究者も加わり婦人保護事業を大きく見直すこととなった。

今回の全国大会は、記念すべき第一回検討会が立ち上がったその二日後に行われた会だった。

大会のプログラムでは行政説明、基調講演、分科会、が行われた。

行政説明では厚生労働省の斎藤女性保護専門官より、今回立ち上がった検討会、その他婦人保護事業の最近の動きについての説明があつた。

基調講演では立教大学コミュニティ福祉学部の湯澤直美氏が講演をした。日本社会の中では、男女共同参画と言いつつ女性が貧困や労働などにおいて不利な状況に置かれており、暴力被害は圧倒的に女性が多いという現状がある。また婦人保護施設を利用する女性たちの保護される理由はひとつだけでなく、貧困であり、暴力を受け、障害があるなどいくつかの理由が重なっており、それが親から子へつながらつていく世代間連鎖があり、それが被害の雪だるまというと語られた。また「自立とは何か」と自立の再定義を必要があると言われた。そして最後に誰もが、支配されたり、暴力を受けたり、差別されたりすることなく「尊厳ある日常」を生きていくことができる社会にしたいと締めくくった。

その後、三つの分科会に分かれて討議が行われた。

第一、「婦人保護事業が支援する女性たちは今」 湯澤直美氏

第二、「シエルターサポートの現場から」

全国女性シエルターネット共同

代表 近藤恵子氏

第三、「若者の性の現状」

ワイメンズクリニックかみむら

上村茂仁氏

研究者、シエルター代表、若者たちの相談に乗っている医師など、さまざまな現場で活躍している方たちの課題提起のもと活発な議論が行われた。

全国六十三箇所の婦人相談所、婦人保護施設の施設長が年に一回集まる大会である。その中でも今年度は、売春防止法を見直すための検討会が立ち上がった記念すべき年となった。

非正規労働者が増える中、貧困は確実に拡大しており、女性の貧困はさらに深刻である。婦人保護施設にたどり着く女性たちの背景には貧困、暴力、障害者差別、その他もろもろが重なり合っていることを日々実感している。誰もが「尊厳ある日常」を生きていくことが出来るよう、また現場の職員とともに頑張っていきたいと思う。



第三十六回

全国救護施設研究協議
大会を振り返って

救護施設昭島荘

施設長 相原 幸仁

一日目の基調報告は全国救護施設協議会会長大西豊美氏から、「拡大する救護施設機能と期待に応えるために」「生活困窮者対策と生活保護制度の一体的な見直しに向けた動き」についての報告がありました。生活保護受給者は二百十万人を超過しており、特に「その他の世帯(稼働世帯)においての二十代・三十代の若年層がますます増加傾向にあります。生活保護法の改正も含め制度改正に向けた議論が着実に進行しています。従来の制度にとらわれない新たな仕組み作り「新しい公共」といった考えのもと、支援の担い手としてNPOなどが注目されているなかで、救護施設はその存在意義を示していくことが出来るかが問われています。

救護施設の機能強化に向けての指

針として、各施設の生活困窮者への支援・地域生活移行支援機能強化や精神障害のある生活保護受給者等の相談・支援体制作り、個別支援計画への取り組みがあげられています。

次に、厚生労働省・社会援護局保護課より行政説明があり生活保護費負担金実績額(事業費ベース)平成二十一年度(三兆円)を突破し二十四年度では三兆七千二百三十二億円に膨らんでおります。医療扶助の適正化に向けた取り組みとして、後発医薬品の使用促進や向精神薬に係わる適正受診の徹底にあります。さらに、生活保護費不正受給件数は毎年増加しており、内五割強は稼働収入の無申告や過少申告であり福祉事務所に係る課税調査等の照会調査により約九割が発見されております。

救護施設の状態として、精神科病院退院促進等の受け皿として居宅での生活困難な精神障害者を受け入れています。入所者の内、精神障害者の割合は平成十九年度調査では三割であったが、平成二十二年では四割を超過しています。また、精神障害者の地域移行支援強化のために精神保健福祉士の配置加算や一時入所事業における実績支払い制度の創設を平成二十三年四月に行ないました。

午後からは、各分科会に分かれ議論をかわしました。

(第一分科会)テーマ新たな制度を活用した支援の推進

*「パーソナルサポートについて」

中尾久之(大阪自強館グループリーダー) NPO法人釜が崎支援機構との共同事業体として野宿生活者などを対象としたパーソナルサポート・モデル事業推進室で「居宅生活」に向けた支援を行っております。

*「意見発表」渡辺孝臣

(東京くるめ園施設長)

救護施設の新たな制度の活用が困難な施設の状態の中で、関係機関と連携し地域の社会資源を活用しながら独自の取り組みを行った事例発表でありました。

大会二日目は、明治学院大学教授新保美香氏の特別講演「生活保護制度のあり方が問われるなかで救護施設の果たすべき役割と職員に求められる視点」がありました。

最後になりますが、昭島荘としての方性がもう一度確認できた大会であったと思います。

一つ目は、精神障害者に向けての地域移行生活支援であり、すでに一時入所事業は平成二十三年十二月から行っていますが、居宅訓練事業に関しては次年度準備をしていきたいと考えております。

二つ目は、救護施設の従来からのセーフティネットの機能強化にあります。昭島荘においては、触法や法務省関連施設からの利用者はすでに割を超えております。

三つ目は、現在、地域をリヤカーや車で空き缶回収や地域子供会への段ボール回収など行っておりますが、この「リサイクル作業」の回数も増やし地域との関係性を築いていきたいと思っております。

このように救護施設は、施設としてのセーフティネット機能と地域に向けた通過施設としての大きな二つの役割を担っていることを痛感いたしました。



ご 寄 付

◇内田祥二◇大野武夫◇小野澤知治◇小野澤智史◇川鍋實子◇戸塚洋子◇名久井佳治◇福島友美◇福原初江◇森田美佐子◇森谷順蔵◇山内悦◇八十島孝子◇昭島市自治会連合会第四ブロックブロッケ長 降矢新吉◇昭島自治会連合会第四ブロック顧問 測上良子◇昭島市自治会連合会第四ブロッケ 大柴登◇昭島市民生児童委員協議会会長 松井光子◇昭島市赤十字奉仕団団長 和田とく子◇みやび舞踏奉仕団代表 村野和子◇富士見ヶ丘団地自治会会長 千田寿夫◇都営中神アパート自治会会長 猪俣たかね◇都営中神第二団地自治会会長 山田恒男◇昭島市老人クラブふじみクラブ会長 渡邊文子◇昭島市老人クラブ中神仲よし会会長 鈴木トヨ子◇南池袋南町会◇昭島サンセルフ 高野實◇昭島ガス(株)代表取締役社長 平畑文興◇(有)海老山◇大塚製薬(株)立川出張

所◇(株)共伸インテリア◇坂村建設(株)代表取締役 坂村聡◇サン薬局◇ジーンズショップウエノヤ◇手芸の店トモヤ◇田中電設工業(株)代表取締役 田中健次◇中尾畜産(株)◇(株)肉の三橋◇ネオ・ハルト(株)代表取締役 南浩一◇橋本工務店代表 橋本榮◇扶桑建設(株)代表取締役 星野宗保◇(株)三ツ矢代表取締役 中村暢克◇(有)メグミ生花店◇社会福祉法人同胞互助会◇社会福祉法人東京リハビリ協会理事 長 宍戸貞夫◇社会福祉法人村山苑職員有志一同代表 杉山陽子◇社会福祉法人東京福祉会

後 援 会

◇浅川文雄◇池之上昌子◇伊藤よしひこ◇内田祥二◇海野昌伸◇大西陽◇岡本廣◇おしゃれ洋品ウエノヤ◇川杉萬吉◇監物孝司◇佐々木みつる◇鮫島恭江◇高尾早弓◇高橋暢子◇田中青果店 田中潔◇中村浩二◇早坂麻子◇福家謙介◇細谷寛子◇本田ふき子◇南雲栄一◇森岡正代◇山内悦◇香山商店 香山征士◇

(有)タムラ◇(有)リハビリサービス◇(有)ルフラン◇雪印メグミルク下坪牛乳販売店◇横田屋米店◇吉村電気工事(株)◇(株)カトービルドシステム◇(株)金井商店◇(株)菊屋商店◇(株)木の里工房 木薫◇(株)クシマトラスト◇(株)ケアコム◇(株)ケイエス機材◇(株)コイヌマ◇(株)コスモス医工◇(株)サンメディカル◇(株)昭和造園◇(株)世田谷酸素商事◇(株)茅ヶ岳観光バス◇(株)桃源堂◇(株)共伸インテリア◇(株)フジミ◇(株)ミートショップの鈴政◇(株)三ツ矢◇(株)安江設計研究所◇(株)豊明◇(有)小平ケミカル◇(有)肉の高山苑◇昭島ガス(株)◇浦野工業(株)◇浦野静夫◇エーエスシー(株)◇エコア(株)◇桶川工業(株)◇風間造園(株)◇加藤商事(株)◇川鍋商事(株)◇国立厨房サービス(株)◇クリエーティブカミヤ(株)◇桑都ビル管理(株)◇シダックスフードサービス(株)◇昭和の森エリアサービス(株)◇杉の子学園第二福祉作業所◇田中電設工業(株)◇東京中央食品(株)◇東京冷機工業(株)多摩営業所◇長崎三丁目町会会計 田口光子◇西都ヤクルト販売(株)内藤修一◇日本エン

ゼル(株)西東京F・S・O◇ネオ・ハルト(株)◇ひかりのくに(株)東京営業所◇丸安青果(有) 渡辺匡章◇牛込理容女性部 大内光子

ご支援ありがとうございました。

(敬称略順不同)

※「同援だよりに名簿掲載希望欄」へ○印をご記入頂いた方のみ掲載しております。

計 報

志 茂 威 氏

(享年七十歳)

去る八月二十一日に薬石効なく逝去されました。

故人は、昭島市助役を退任後、平成二十年五月に本会の地域代表理事として就任され、東京都同胞援護会の事業発展に尽くされました。

ここに故人のご冥福をお祈り申し上げますと共に、謹んでお知らせいたします。

し
せ
じ
通
信

◆さやま園◆

十一月六日、あいにくの雨でしたが、地域の事業所、町内会、積水ハウス株式会社、法人本部、障害者支援系グループなど、多数のみなさまのご臨席のもと、さやま園南棟(個室棟)竣工式が執り行われました。

利用者を代表して中林晴世さんが「しんとうをたててくれてありがとうございます。ありがとうございます。きれいでうれしいです。おりよりりをしたり、たのしい生活をしたいです。」

と、挨拶していただきました。

これまでのさやま園は、四人部屋や二人部屋のくらしで、当然プライバシーが守られず、ご自身の秘密を持つことも夢でした。一人でいたい、他人に干渉されたくないと思うこともあります。冬季のインフルエンザなどの感染症も心配でした。集団生活のマイナスな部分です。

「環境は整いました。私たち職員は、『利用者の尊厳とプライバシーを守り』、利用者のみなさんが『ここで生活したい』『ここで生活して良かった』と思えるような、また、安心と信頼を十分に感じる事が出来るような支援を行います。」

職員を代表して、生活支援員古林が



力強く宣誓したように、四〇室すべてが、クローゼット、洗面台付きの個室です。四〇の個性ある部屋ができるはず

です。本人を中心においた個別支援や自己決定意思決定支援、合理的配慮など、近年の知的障害福祉におけるキーワードは力強いものがあります。

今期予定されている大規模改修と合わせて、当園の居住環境は整いつつあります。これからは、それを活かすためにも、これまでのさやま園の『地域』を強く意識してきた伝統を継承し、より本人中心のサービスを展開してまいります。

(宮本 記)

◆児童センター「ぱれっと」◆

四月に児童センター「ぱれっと」の業務委託が開始され、この半年間で約四万五千人の方にご利用いただいています。「ぱれっと」とは愛称です。交流を通じて、新たなものを創造し、異年齢・同年齢の仲間たちとさまざまな個性が触れ合うことで、社会性や協調性を築き、そこで新たな人間関係が生まれることをイメージしたものです。

「ぱれっと」では、毎月約十五種類ほどの行事を行っています。乳幼児とその保護者を対象とした、おはなし会や運動・音楽遊びなど、未就学児を対象とした行事には特に力を入れています。小学生向けには、工作会やクッキング、中学生になると、自主的な活動が増えます。音楽スタジオでバンドの練習をしたり、遊戯室でダンスやバスケットの練習をしに来る中高生もいます。中でも「ぱれっと」の目玉行事は「Nゲージ」です。鉄道模型が常設されており、ボランティアスタッフの協力の下、だれでも運転を楽しむことが出来ます。市外の方も運転会を楽しみに来館されています。夏休み期間中には通常開館よりも、より多くの行事を企画しました。人形劇や科学遊び、演奏会、押し花やアロマなど、子どもたちにとつて楽しい催し物を企画しました。行事のほかにも毎日十分、「おたのしみ」と称して、乳幼児向けの手遊びやパネルシ

同 援 俳 壇

昭島荘 道旬会

公園の

野菊が風に

ゆれている
加賀屋 美知子

秋晴れや

久々に見る

日本海
神 きぬえ

鈴鳴りや

屋根一面に

柿実る
河内 通子

堀の中

紅葉真っ赤に

鮮やかに
石塚 フキ子

新米の

炊きたて香る

うまさかな
池沢 秀雄





アターなども行っており、職員との交流も深めています。
児童センター内には、つづしが丘北学童クラブも併設されていて、近隣小学校三校から通ってきています。学童クラブの子どもたちも、職員と一緒に「ぱれっと」に遊びに来たり、行事に参加したりと、併設施設間の交流も大切にしています。
開設以来、多くの方にご利用いただいている「ぱれっと」は、地域の方に支えられています。地域の方が安心して過ごせる「場」を提供し、健康で情緒豊かな育成ができるよう、これからも進んでいきたいと思えます。
(川畑 記)

◆ ライトホーム ◆

軽費老人ホームB型であるライトホームは、自立型老人ホームであり、一人ひとりのプライバシーが保て、自由で自主的な生活を尊重する施設です。

日々の買い物や散歩等お元気に外出できる利用者さんが生活されている方で、高齢化に伴い外出自体が難しい状況になっている方もいます。

このような中で引きこもり防止、介護予防活動の二環として定期的に映画会、ドラマ上映会、ボランティア講師をお招きしてコーラス、健康体操を行なっております。

今年度より、これらの活動に地域の方にも参加していただく試みを開始しました。

外部の人が入ってくることによって、利用者さんにとっても、刺激が与えられ、新しい顔との触れ合いが、大きな気分転換と程よい緊張感になっていることと思えます。

また地域の方に、このような施設があり、どのような所なのかを理解して頂くにも非常に良い機会であると感じます。

施設内の雰囲気を理解して頂くことは、職員にとっても、第三者の目が入ること、質の向上や緊張感が得られるのではないのでしょうか。

地域とのつながりの重要性は、単に、地域の方が施設に訪れ利用者さんと交



(水井 記)

流したり、外部行事のため利用者さんが地域に出かけるということだけではなく、施設に入所してもごくあたりまえに、日常的に利用者さんが地域に「住んでいる」ということを感じていただく事だと思えます。

施設としても持てる機能を地域に開放することで、施設の活性化につながると思います。

これからも、地域との交流やふれあいが、心身の活力づくりにとつて大切な介護予防であるとともに、利用者さんの、新しい生きがいづくり、生活の活性化につながると思います。

これからも、お一人おひとりのペースで充実した日々を過ごせ、笑顔で暮らせるような施設を目指してまいります。

万世敬老園 あらさぬ旬会

食べたいな

イトコのくれた 新米を

佐藤 正子

道野辺の

小さな花と ひとり言

太田 義子

柿すだれ

幼い頃の 家の顔

佐藤 玲子

お隣は

羨むほどに 柿実る

月岡 久三

団扇ふる

手先も汗の 夕方なり

宣 準子



祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方が表彰されました。

おめでとうございます。

◎ 社団法人東京都施設給食協会

集団給食優良従事者表彰

昭和郷第二保育園

栄養士 真藤 静江

さやま園

調理員 兵藤ゆり子

◎ 全国社会福祉協議会表彰

ライトホーム

施設長 池田 清彦

◎ 東京都知事感謝状

サンライズ武蔵野

所長 石川 宜子

サンライズ万世

主任・母子支援員 小島 房子

資格取得の紹介

左記の方が資格取得しました。
日頃の業務に生かして活躍を期待します。

【介護福祉士】

さいわい福祉センター

生活支援員 山内 一城

【介護支援専門員】

さいわい福祉センター

生活支援員 平井 弘人

バザーのお礼

盛夏号でお知らせしました通り、今年度も同援各施設では、それぞれ趣向を凝らし盛況にバザーを開催することが出来ました。

皆様方のご協力、ご寄付は法人各施設の設備、改修等に活用させていただく予定です。

寄せられました皆様方のご厚情に対しまして深く感謝申し上げます。今後共、地域の皆様方にご支援いただけるように努めてまいります。ありがとうございました。



実践的な震災対応マニュアル作成に向けて

震災に関する研修の二環として十二月九日に、フジホームを舞台に震災初動三十分の訓練を行いました。

今回は「高齢者福祉施設におけるBCP策定ガイドライン」などの著者、危機管理勉強会齋藤實先生のご指導をいただきました。

想定は「十四時二十分頃、立川断層地震M七、四が発生。昭島市は震度六強。電気・水道・ガス公共交通機関停止、建物の倒壊なし」です。

フジホームの職員には知らせず、ケガ人三名、ガラス破損・家具の転倒など数カ所を設定。防災担当職員を中心に八十二名の参加があり「リーダーの指示がテキパキしていた」「実際はあわてて放送が聞き取れないのでは？」などの感想が聞かれました。

今後の、より充実した地震対応訓練やマニュアルの作り込みに役立つ研修となりました。



雑感

先日久しぶりに船釣りに行ってきました。船釣りの経験は数える程度ですが、十年くらい前に連れて行ってもらったのをきっかけに、時折乗っています。

今回は船釣り初心者が行ったので、船酔いを気にしておりましたが、海はそれほど荒れておらず安心してました。私は船に乗ると思いだす句があります。高校時代の学友が卒業アルバムを広げ「この先生の句、いいよな…なんか頑張ろうって気になるんだよな！」と私に教えてくれたものです。

「荒海に こぎ出す小船 波静か」
夢や希望を持ち、社会という荒波に向かう…。広い海原で先生の句と学友（悪友）の笑顔を思いだしながら久しぶりの釣りを満喫してまいりました。釣果は、船釣り初心者の同行者のお土産、我が家の夕食に新鮮な刺身が並びました。（池田 記）

― 表紙の写真 ―

「浅間山にて」
(林 敏夫 氏)

平成二十五年一月十五日 発行
東京都新宿区原町三の八
電話 〇三(三三四) 七六一一
社会福祉法人 財団法人 東京都同胞援護会
発行者 牧 野 洋 一
印刷所 東京都同胞援護会事務局
東京都千代田区外神田一―一五